

共通教育目標	重点目標	達成指標	重点的取り組み		取り組み指標
未来に向かって 生きる力を備えた 緒方っ子の育成	基礎学力の定着	<p>【小学校】 ○算数の単元末テストで平均正答率を80%以上にする。</p> <p>【中学校】 ○低学力層（30点未満）の割合、15%以下 【単元テスト、定期テスト】 ○生徒の論理的な思考力や表現力を問う問題の正答率70%以上 【単元テスト、定期テスト】 ○授業の内容に興味関心をもつ生徒の割合90%以上</p>	学校	スキル学習の推進	<p>小：全学年、週1回のスキルタイムで統一したドリルを活用し指導する。（テスト等も統一する。）</p> <p>中：授業者は、単元の中に帯活動としてのドリル学習を位置づける。</p>
			家庭	家庭学習の推進	<p>小：毎日宿題チェックをする。</p> <p>中：学期に2回以上、授業参観や学校のHP等で、学校での子どもの様子や学習の成果を確認し、それを生かして子どもと会話をする。</p>
			地域	学習サポーターとしての協力・体験活動への支援と協力	<p>小：週に1回放課後TRYで支援をする。</p> <p>中：学校運営協議会委員は、学期に1回以上授業を参観し、成果と課題について学校と共有する。</p>
	豊かな心の醸成	<p>【小学校】 「友だちと仲よくすることができた」と回答する児童の割合を80%以上にする。</p> <p>【中学校】 ○「学校が楽しい」と回答する生徒の割合90%以上 ○自分や友だちのよさや成長を感じることができる生徒の割合85%以上 ○学級や生徒会活動等で協力して課題を解決しようとすることは価値のあることだと実感した生徒の割合90%以上</p>	学校	望ましい集団の形成	<p>小：「人間関係づくりプログラム」を週に1回実施する。</p> <p>中：学級担任等は、短学活で、毎日、生徒が前日の家庭学習を振り返り、改善点を踏まえて計画を立てる時間を確保する。</p>
			家庭	家庭教育力up5ヶ条の徹底	<p>小：褒めて認める取組をする。</p> <p>中：家庭は、睡眠時間確保のために、ゲーム・SNS・メディア等との適切な向き合い方について子どもに指導し、取組を進め、学期に1回の懇親会で情報交換をする。</p>
			地域	あいさつと言葉かけの推進	<p>小：登下校時の児童にあいさつと温かい言葉掛けを行う。</p> <p>中：生徒や集団の成長や課題に目を向けたコメントを学期に1回は発信する。</p>